

令和4年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第七小学校 第1学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 平仮名や片仮名を正しく理解し、拗音、促音、長音などを含めて、正確に書いたり読んだりする技能を身に付けさせること。 <p><思考・表現・判断></p> <ul style="list-style-type: none"> 見たものや聞いたこと、体験したことなどを簡単な文章で書き表す力を身に付けさせること。 場面の様子を想像したり、登場人物の気持ちを考えたりしながら読む力を付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名、片仮名の反復練習を行い、正しい文字の書き方や読み方の定着を図る。また、ICTを活用して絵や写真などを提示しながら、それを言葉で言い表す練習を行うなど、事物に正しく対応した表現の練習も行い基礎的な知識を身に付けさせる。 見たことや経験したことについてのつづやきを大切に、それを言葉に変え、さらに文章に変えるという作業を繰り返せるよう、対話を多く取り入れた授業づくりを行う。 図書支援員と連携し、図書資料を充実させる。読書指導を行い、たくさんの本に触れさせて、読む力を育む。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 平仮名や片仮名などを正しく書く力は定着した。促音、長音などを正確に表記させることは課題が残っている。 漢字も繰り返し練習するよう指導した。定着させることについて課題が残っている。 絵や写真から情報を選び取る力が付いてきた。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が経験したことや思ったことを文章にすることができるようになった。感じたことを言葉にする時間を大切にしながら、今後も力を付けていきたい。
算数	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 数の概念を確実に捉えさせること。 加法、減法を正確に理解させること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 文章問題の場面を想像し、正しく立式したり解答したりする力を身に付けさせること。 算数で学んだことを日常生活の中で生かす力を付けること。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を使って、数の合成や分解の操作を繰り返し行わせて知識を定着させる。 計算の反復練習を行い、確実に正答を導き出せる力を養う。 文章を正しく理解できるよう、「分かっていること」と「聞かれていること」を確実に捉えさせ、課題を把握する力を付けさせる。また文章だけではイメージを捉えにくい児童に関しては、ICTを活用して実際にイラストを操作させるなどしながら、場面を理解できるようにさせる。 時計の読み方など、日常的に声をかけ、意識して考えられるようにさせる。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習での反復練習の成果が実り、数の合成や分解の力が定着した。 時計の読み取りはまだ定着していない。実生活と結びつけながら継続的に力が付くようになっていく。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 文章問題では、課題を把握する力が身に付いてきた。今後も丁寧に読み取らせ、自分の力で意味理解ができるように指導していく。
生活	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然や生き物、身近な人との触れ合いや、季節の変化を通して、様々なことに気付かせること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然や生き物、身近な人との触れ合いの中で気付いたことを、自分の生活をより豊かにするために生かしていこうとする力を身に付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 同年齢や異年齢の子供たちと交流しながら、互いに学び合う活動や体験を設定する。活動の振り返りを丁寧に言い、気付いたことや感じたことを表現できる力を付けさせる。 植物の観察や生き物探しなど自然と関わる学習を多く取り入れ、自分の生活とのつながりが実感できるようにさせる。その中から、自分の生活に生かせることを見付けさせる。 児童の気付きを大切に。分からないことや知りたいことを、図書資料を活用して調べる学習を繰り返し行うことで、分かる喜びを実感できるようにする。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 虫や花などの自然に目を向けて、季節を感じられるようになった。 自分のお店の準備をすることができた。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 植物や生き物など季節探しながら、図書資料を活用して調べられるようになってきた。 こどもフェスティバルの計画を立てて、お店に必要なことを話し合い試行錯誤して準備することができた。
音楽	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けさせること。 音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けさせること。 声や身の回りの様々な音の特徴を生かして、音楽をつくる技能を身に付けさせること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもたせること。 音遊びを通して、音楽づくりの発想を得させること。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画や音声資料を活用して魅力ある歌声に接したり、曲想を感じ取って歌い方を工夫したりする機会を設ける。 教師や友達の演奏を聴いたり見たりすることで、楽器の適切な演奏の仕方を身に付けられるようにする。 自然の中の音や、楽器の音の出し方を子供たち自身で見つける機会を設ける。 思いを基に、実際に演奏して確かめていく過程を多く取り入れるようにする。 友達と関わりながら、声や身の回りの様々な音に触れ、その場で音を選んだりつなげたりして表現する活動の機会を設ける。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 発声や発音に気を付けて歌わせることができた。 また、音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器の適切な奏法を身に付けさせることができた。音声資料を活用し、正しい歌い方あ演奏の仕方のコツを一緒に考えたり、歌詞などから曲想を考えたりすることは有効であった。 身の回りの様々な音の特徴を生かして音楽をつくる技能を身に付けることができた。演奏を試す機会をできるだけ多く設け、自身で発見させたことが有効だった。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 表現を工夫し、思いをもたせることが不十分だった。子供たちの思いをより広く取り上げるために、話し合いの時間を設けたり演奏に生かしたりする指導が必要だった。
図画工作	<p>(知識・技能)</p> <p>材料をもとにした造形活動を楽しみ、体全体の感覚を使って材料や用具のよさに気づかせる。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>友達との対話や、協働、相互鑑賞の中で、子供が豊かな発想を広げられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭にある身近な素材や、道具、自然を題材に取り入れ、材料の形や色、触った感じや質感の違いに気づきながら造形活動を行えるようにする。 まだ、友達と協力したり、互いに思いやりをもって協力する経験が少ない。グループ行動や話し合いの場を設けて、役割分担やルールづくりを細やかに言い、協働する経験を積ませる。子供の作品のよさを教師が具体的に紹介することで、作品のよさを味わう感性と知識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体の感覚を十分に使って造形活動に取り組ませることができた。用具のよさを味わわせ、使い方を身に付けさせることができた。自然や生活の中にある材料を家庭で集めさせることは個人差が生じてしまったため、学校側で用意しておくなどの手立てが必要である。 友達との対話によって協働したり、相互鑑賞で子供の発想を広げさせることができた。役割分担や助け合いの時間を設けたことが有効だった。
体育	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 体幹を保持させるための力や体を柔軟に動かす力を付けさせること。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 安全や健康を目的に、その場に応じた体の動きを考えて実行する力を付けさせること。 友だちと協力して、遊びのルールを守りながら楽しく運動する力を付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具やマット、ボールやフープなどを活用して多様な動きを体験させながら、日常生活に必要な体幹を鍛えさせる。 安全面や自己の健康のために、叱咤の場面でも正しい動き方を判断できるように、敏捷性を養える運動を反復して行わせる。 ルールの大切さを理解させ、自分だけでなくみんなが楽しく運動できるような力を付けさせる。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 体力テスト後、「体力貯金カード」を作成し、日々の宿題に出した。基礎的な運動能力が高まってきた。 遊具やマット、ボール、フープなどの多様な動きを覚えることができた。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ルールを守って運動遊びに取り組むことができた。計画的に運動遊びに取り組んできた。友達同士、作戦を立てる姿が見られるようになった。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を整える力を付けさせること。 自分のことを自分でやる力を付けさせること。 自分の行いに対して正直になろうとする気持ちを養うこと。 周囲の人や物に対して思いやりの気持ちをもって接しようとする態度を身に付けさせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動の時間目標を設定して時間への意識を高めたり、きまりやルールを守る意識を高めたりする等、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 想定した場面での役割演技などを多く取り入れ、様々な立場からの見方や考え方を理解させることで、思いやりのある言動ができる力を身に付けさせる。 	<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 時間を意識したり、きまりやルールを守るなど、基本的な生活習慣が身に付いた。 個別に声かけをする必要がある児童もいる。必要に応じて丁寧に指導する。 <p><思考・判断・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立って考えることを大切にしてきた。自分の考えをワークシートに書いたり、発表したりできるようになった。日常的に思いやりのある言動が増えた。

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。